

# 洛南労組連ニュース

2002年2月22日

## 洛南労働組合連絡会議 ( . 0 7 7 4 - 4 3 - 8 7 3 4 )

〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山37-1 自立労連気付  
<http://web.kyoto-inet.or.jp/people/yamabiko/>

- 1 20周年記念レセプションが行われました --- 1
- 2 サア春闘です・「小泉・構造改革の逆風に地域から連帯春闘を！」 --- 2
- 3 語り継ぐ労組連の20年・「地域が支えた労組結成」 --- 3
- 4 派遣現場レポート・ケイテム闘争から --- 4
- 5 2001・11月韓国訪問記(その2) --- 8
- 6 映画鑑賞・「梅香里」を観て... --- 10
- 7 舞鶴からの自衛隊第二次派兵を許さない! 抗議行動 --- 11
- 8 3月定例会のお知らせ・スケジュールなど --- 12

## 1 20周年記念レセプション、50名の大盛況!!

(参加者総数 約50名)

中金労組、NJA支部、豊永労組、自立労連(本部書記局、京都地協)、きょうとユニオン、  
金属京滋労組、GS労組、京コン労組、城南衛管労組、市議員、保険衛生専門学校、



洛南労組連二〇周年旗開き

祝激励句

待春や 耐えし苦節の 二十年

今本翠峰

(お祝い、差入れ、メッセージなど)

- \* 宇治市議 池内光宏 様、浅見健二 様、城陽市議 妹尾茂治 様、
- \* きょうとユニオン 今本 様、北山 様、全金合同支部 万字慶造 様、  
豊永労組 田中 様、GS労組 斉藤 様、
- \* (アピール) 関西労災職業病研究会・北摂地域ユニオン 豊田正義 様  
ありがとうございました!!

食料は、浅見さんより大量のおでん、GS 斎藤さんより、餃子・唐揚げが届きました。

太田事務局長、手ずからのから揚げもあり、皆、満腹で終了しました! (自立労連・服部)

## 2 サア春闘です・「小泉・構造改革の逆風に地域から連帯春闘を！」



倒産が続いています。この洛南地域では、進々堂製パン(株)が3月末に解散、京都工場が閉鎖します。大規模リストラも相次いでおり、近畿の失業率は6.5% (昨11月)。再就職口はほとんどなく、アルバイトや派遣など非正規雇用が増えています。雇用は不安定で無権利、年収200万ラインといわれています。

こんなことではとても暮らしていきません。政府の雇用対策は、大企業にとって有利なものばかり。こんな社会では子どもたちも希望が持てません。この地域で暮らし働くものたちが納得できる対策を、政府・自治体に求め、雇用形態を超えて連帯し、声をあげることが今こそ必要です。

小泉改革NO！雇用・生活破壊NO！戦争NO！

# 3・26 洛南地域連帯春闘

小泉改革の痛みにNO！ 労働組合に団結し、賃上げ・生活防衛を！  
倒産・失業・リストラを許さず、パート・アルバイト・派遣労働者の権利確立を！  
地域から連帯春闘に立ち上がろう！

南宇治コミュニティ・センターにて

3月26日(火)午後6時～7時30分

人間らしい労働と暮らしをめざし、職場から地域から連帯春闘に参加を！

## 3 語り継ぐ労組連の20年

- 地域が支えた労組結成 - (元労組連事務局・小山陽三)

漫然とした思い出話にならないようにとの編集者の忠告を受けて、私は洛南労組連での「未組織の組織化」の経験について書いてみようと思います。

労組連が結成された1982年から4、5年ほどのあいだ、私は労組連事務局で活動をしていました。この時期は、労組連が新しい組合づくりの運動をもつ

とも活発にくり広げていた時代でもありました。

洛南労組連は「労働戦線の右翼的再編」に反対し、原則的・階級的な労働運動の旗を守るといった意気込み

をもって結成されました。のちに「連合」に行く部分が一部上層労働者の利益代表者として、資本の言いなりになる労働運動の道を通って走っていきなかつたで、全国の仲間とともに私たちは地域を拠点にして運動の再構築をはかっていくことを構想していました。

ですから結成された労組連において、もっとも苦しい境遇におかれている中小・零細の未組織労働者の権利を守り、彼らの組合結成を支援する運動 - 「未組織の組織化」の活動を地域運動として重視して取り組んだことは、ごく当然のことであったといえます。

記録をたどってみますと労組結成は 1983 年に集中しており、この年に、洛南合同労組堂坂支部（5月）、全金京和ブロンズ支部、洛南合同労組木下支部（7月）、洛南労組連・丸石沼田労組（9月）の4つの新しい労働組合が旗揚げしています。同じ年の3月には、タカラブネ労組で永幸食品分会が結成されています。

最初から労組連が計画的に力を入れて取り組んだ事例や、そうでないものもありますが、それほど大きいとはいえない労組地域共闘の取り組みとしては、本当によくがんばって成果をあげたと思います。

当時、私たちの活動は全

国的にもある程度の注目を集めました。83年の秋だったと思いますが、『労働情報』の編集局の方がわざわざ東京から取材に来られ、労組連主催のソフトボール大会の会場やいくつかの職場など、洛南の地域をあちこち案内して回った記憶があります。その後『労働情報』には、まとまった特集報告記事を掲載してもらいました。

いま 20 年前をふり返って考えてみると、洛南労組連の「未組織の組織化」の活動には、規模は小さくとも、日本の労働組合運動のたたかひの伝統を受けついでいくという側面があったと思います。それが大きな成果を生んでいった、隠された要因であったのではとも思います。

「地域に団結を」というスローガンをかけて成功させた洛南労組連の 80 年代前期「未組織の組織化」の経験を、少なくともこの地域において語りつぎ、引きついでいく責任が私たちにはあると思います。非正規雇用労働者が急速に増大する現在の新しい時代状況のなかではそれはとくに重要です。

残念なことに、結成された労働組合の多くはその後、消滅を余儀なくされるという経過をたどりました。労働組合とはしょせんそんな

ものだと割り切る見方もあるでしょうが、私は賛成できません。結成された労組が解体していったのには、当該の労組内にも問題はあったのでしょうか、それを支援しようとした側の力不足や、ねばり強さの欠如にも相当大きな原因があったと思います。

私たちの非力さを反省しながらも、今度こそは労働者の団結を一時的なものではなく地域を基盤にして永続させていくような「未組織の組織化」をめざさねばならないというのが、私のひとまずの結論です。



ともあれ活動の再興のためにはリアルに「人・物・金」が必要となります。「未組織の組織化」には献身的に働く活動家の集団が不可欠です。

今後私は一人の活動家として、労働組合の内と外から活動家集団を形成し強化していくために少しでも役立てればと思っています。

## 4 派遣現場レポート・ケイテム闘争から

去年10月の労組連例会で「派遣労働者の現状と闘い」について報告をしていただいたきょうとユニオン日本ケイテム分会の泉さんに、あらためて派遣労働者の現状についての文章を書いていただきました。

派遣労働者のおかれている状況についてたいへん分かりやすくまとめてくださっています。

さらに、追加で3項目の質問への回答をお願いしました。快く引き受けてくださった泉さんに感謝するとともに、日本ケイテム分会のねばり強い取り組みに、最後まで支援・連帯を続けていきましょう。



2月20日の早朝情宣は、大阪・守口市の松下電池工業本社前で行いました。

=====

### 「派遣の現場から」 (きょうとユニオン日本ケイテム分会：泉喜久)

こんにちは。私たちは松下電子部品(株)宇治木幡工場で勤務していた「業務請負業」(株)日本ケイテムの従業員で組織した労働組合、きょうとユニオン日本ケイテム分会です。現在毎週水曜日の朝、宇治工場前で情宣活動を行っておりますが、洛南労組連の皆様には、毎回多大なご支援を頂き、大変感謝致しております。最初にこの場を借りて御礼申し上げます。今回は「派遣の現場から～」というテーマで報告をさせて頂きたいと思います。

#### 「労働者の使い捨て」を可能にさせる労働者派遣制度

私たち日本ケイテム従業員140名は、松下電子部品の生産削減をうけ、昨年5月から7月にかけて一斉解雇されてしまいました。松下電子部品と日本ケイテムの関係は、形式的には「業務請負契約のもと、製品の委託加工」という形になっていましたが、その実態は法律で禁止されている製造業への違法派遣=偽装請負そのものでした(派遣と請負の違いについては別の機会があればそこで書きたいと思いますので今

回はあえて区別はしないことにします)。

松下からは事前に一切説明なし、ケイテムからは1ヶ月前の紙キレー一枚による解雇予告だけという、実に安易な使い捨てです。家族主義を掲げ、いかなる時にも社員の首切りを行わない事で有名な松下に、なぜこんな事ができるのか?その答えは「労使関係を商取引に変える」労働者派遣の本質にあります。

#### 松下・ケイテム両社の雇用責任

私たちは長年にわたり、松下電子部品宇治工場において、同じ製造ラインで同じ製品を作りながら、松下社員と渾然一体となって働いてきました。松下電子部品は、私たちケイテム従業員に対して直接指揮命令を行い、人事権も行使する実質的な雇用主

です。本来なら松下電子部品には、私たちに対する雇用責任が存在し、今回のような不当解雇が堂々で行えるはずがないのですが、労使関係を商取引に変える「業務請負業」日本ケイテムの存在が「契約解除」という形でそれを可能にしてしまっているの

です。

そして日本ケイテムは、偽装請負という違法行為を行いながら、自らの生産設備や在庫を一切持たず、労働者供給に特化し、

私たちとの1～6ヶ月といった極めて短い雇用契約さえ、何の保証もないままに一方的に途中解除して、全くリスクを負わない無借金経営を今日も平然と続けています。

#### 大企業の終身雇用制を支える非正規雇用労働者

松下をはじめとする大企業の終身雇用制は、派遣やパートといった私たち非正規雇用労働者のこのような実態と、表裏の関係で成り立ってきたものです。私たちの存在は松下にとって、安価な労働力というだけではなく、間違いなく雇用の調整弁としての機能を負わされていまして、今回の一斉解雇という事態は、もはやその調整弁としての機能が限界を超えた事を意味します。松下のリストラが「家族主義の崩壊」という言葉で伝えられていますが、崩壊というよりメッキが剥がれたというのが私たちの実感です。



松下電子部品工場前の早朝情景

「君たちが黙ってさえいれば世の中まるくおさまる」...こんな声が聞こえてきそうな職場でしたが、今回だけは黙っているわけにはいきませんでした。

#### 派遣や偽装請負は、労働者を無権利状態に突き落とす

派遣や偽装請負は、間違いなく人間の使い捨てのために存在するシステムです。ひとたび派遣に取り込まれた職場は、賃金・待遇・福利厚生・そして何より安定雇用といった、それまであった雇用環境を確実に破壊されてしまいます。また、派遣は人を育てないという深刻な問題点も、まもなく表面化してくることでしょう。しかも恐ろしいことに、労働者派遣業は日々加速度的にその規模を拡大し、正規雇用を非正規雇用化・間接雇用化しています。この流れに

は全く歯止めが無いのが現状です。

派遣は労働者を無権利状態に突き落とす大いなる脅威です。非正規雇用・間接雇用の拡大をこのまま放置するわけには行きません。その為には何よりも派遣やパートといった非正規雇用労働者の団結・組織化が必要です。

私たちも洛南労組連の皆様と共に、この課題に全力で取り組んでいきたいと思いません。

#### Q1 業務の指示は誰が出していたのですか？

業務に関わる指示は100%松下から出されてきました。別の言い方をすれば、現場にはケイテムが自前で持ちこんでいる指示命令系統は存在しないということです。新人は松下による事前面接（「松下社員の気

持ちで働いてください」等の心得書きを渡されます）をパスした後、松下の管理下で配属先を決定され、業務内容は全て配属先の松下正社員から教わります。作業指図書や品質管理に関わる書類も全て松下作成の

ものです。工場は24時間稼働で8時間の3交代制あるいは12時間の2交代制勤務でした。各勤務ごとに松下・ケイテム混在の班編成で、始業時の朝会（松下電器の七精神を唱和）から終業時の夕会まで完全に松下側の班長及び各製造工程のリーダーの指示命令のもとに働いていました。一斉解雇直前には約140名、最盛期には270名を超えるケイテム現業スタッフが現場で働いていましたが、これに対し、常駐管理者として宇治工場に配属されているケイテム業務担当社員は1～2名で、彼らには機械を操作する事も、品物を管理する事もできません。そもそも現場の仕事をしたことがないので、現場の仕事を知らない彼らが、我々現

業スタッフに対し、指示命令を行えるはずがありません。

彼らの仕事は松下からの「注文」に応じた人数の増減及び各現業スタッフとの契約に関わることがほとんどで、あとは制服や上靴の支給といった雑務ぐらいですが、これとて140名分となるとそれだけで手一杯です。彼らと顔を会わすのはせいぜい月に1～2回、しかも24時間稼働の工場であるにも関わらず、常駐している時間は8:30～18:00ぐらいで、残りの時間は、常駐室には誰も居ません。ケイテム本社に電話しても留守番電話が待ち構えているといった状態でした。

## Q2 製造ラインの実態は？

宇治工場では電子部品的一种「コンデンサ」をロット単位（2千～12万個程度/ロット）で生産しています。ロットごとに各担当者1名が責任を持って生産管理しているのではなく、松下・ケイテム渾然一体の24時間稼働の中、絶え間なくロットの引き継ぎが行われていました。

生産設備は作り込みの各工程ごとに独立していて、ベルトコンベアによる流れ作業と言った具合ではありませんが、「この設備はケイテム、あの設備は松下」といった区別もありません。

例えば3交代制の場合、ひとつの設備を「A勤ケイテム B勤松下 C勤ケイテム」といった様に、混在で担当していましたし、班編成も松下・ケイテムの混在で組織され、

松下による一元管理が行われていました。

「成果物での検収(単価×数量)」がタテ前の「請負」ですが、このような渾然一体の生産体制でそれが行えるはずもなく、ケイテムの実態は「一人いくら」の偽装請負=違法派遣です。



## Q3 勤怠管理の実態は？

勤怠管理は松下・ケイテムの二元管理が行われていました。「1人いくら」の偽装請負の中では、ちょうど一般の物流における納品書と請求書の関係に近いものと考えてもらって差し支えありません(当然実際の

請求書は"1人いくら"を"加工費"として偽装されています)。

タイムレコーダーはケイテム所有でしたが、松下独自の勤怠簿もありました。欠勤等の連絡は松下・ケイテム両方に行う事に

なっていました。この点は実に曖昧で、実際には松下にさえ連絡すれば問題は起こらないのですが、逆に請負のタテ前を信じていた新人が、ケイテムだけに欠勤の連絡をしたところ、それが松下側に伝わって、無断欠勤扱いになってしまった事もあります(彼の末路はご想像の通りです)。

ケイテム自前の工程管理者が不在である事の象徴的事例です。急な欠勤者が出た時の代替要因は、松下側の班長あるいは工程リーダー等が対応しました。年休の消化は松下・ケイテムの区別無く、松下側の一元管理の元に調整が行われ、ケイテムへは松

下側の承認の後に申請するといった形です。

残業・休出・タイムカードの打ち忘れには、別途専用の申告書がありました。かならず松下社員の承認印が必要とされ、押印無きものは無効とされていました。さらにタイムレコーダーのところには次のような貼り紙がありました「この申告書は松下電子部品さんへの請求、引いてはみなさんのお給料に関わってくる大切なものです。未提出のままですと、止むを得ず欠勤・遅刻・早退扱いになってしまう場合がありますので必ず提出してください」と。

(以上)

---

---

## 5 2001年11月韓国訪問記(その2)

<きょうとユニオン・ト部昌則>

韓国の労働者大会(2001年11月11日)

韓国民主労働運動と交流して大きく深呼吸してきました! <2>

### 1. はじめに

前回に、「非正規職労働者の組織化なくして韓国民主労働運動の未来はない」と言い切るかのような文書を書きました。それは、私なりの切口で見た民主労総の現状でした。コミュニティユニオン運動にかかわっている立場で見ると、韓国の運動に私た

ちと共通する課題を抱えていると感じたからです。

民主労総の方針の中心軸はやはり「産別」組織建設でした。このなかで、私は一時、民主労総が「オセロゲーム」のように、「韓国労総のどの単産がひっくり返す」ということに力を注いでいるようでぶっちゃけた話不安でした。しかし、民主労総内で、新自由主義が席捲するなかでは「産別」と「非

正規職」の両立が必要だ、という論議のすえ、ここ数年「非正規職の組織化・闘いの重要性」が押し出されているのだと思います。この方向性に大きな共感を覚え、学ぶべき点が多いと考えたのです。

## 2. AWC韓国委員会と

### 西大門刑務所

次の日には、AWC韓国委員会に日本でもお馴染みの李壽甲（イ・スガプ）さんの事務所を尋ねました。この事務所は、「三一同志会」や「民族正気守護協議会」の事務所でもあり、日本による36年間の植民地支配と闘い、戦後は解放以降労働運動などの様々な運動をしてこられた大先輩方が集う所でもあります。その方々が出迎えてくださり、緊張してしまいました。皆さんは傘寿に手が届くお年にもかかわらず、労働運動など社会運動に参加されおり、新しい展開を切り開こうとしています。「闘いは一生を費やした事業だ！」ということは決して口にされていませんでしたが、俗な言いかたをすると「オーラが出ている」というのでしょうか？そういう雰囲気始めて包まれました。

李壽甲さんの案内で、西大門刑務所を訪れました。2000年にも来たところであり、ここがどういうところかは、詳しくは割愛します。しかし、何度足を運んでも身の引き締まる心地になりますし、新しい発見もありました。西大門刑務所が存在した歴史の延長に私たちの歩んでいる歴史があります。また、私たちの歩む歴史の延長に未来があります。このことを忘れた「新時代」はありえないのです。

## 3. 「社会進歩のための民主連帯」 と食事をしながら交流する

西大門刑務所をあとにし、労働者大会前夜祭が行われる崇実大学校（ソンシルデハッキョ）に移動しました。正門前はまるで学園祭でも行われているような雰囲気でしたが、労働者大会という看板とポスターが張られていましたので、ここで前夜祭が行われることが確認できました。

しばらくすると、ユ・ドクサンさん（全民主労総副委員長）に案内されて「社会進歩のための民主連帯」のメンバー2人が来てくれました。お二人は事務局長と政策企画部長で、まだ若く見たところ30歳前後の青年でした。彼女らの案内で近くの食堂に行き（とにかく韓国・ソウルは食堂が多

いのよね)、彼女らが鍋や焼肉、酒、ビールをじゃんじゃん注文し、私たちもそれに甘えさせてもらい、腹いっぱい飲み、食べました。韓国では「割り勘」という習慣がないので、先方のおごりです。「また、次はおごります!」と思ったものの、次はあるのでしょうか?

#### 5つの実践

「韓国NGOデータブック」によると、「社会進歩のための民主連帯」は、1998年に、民衆運動の変革性が後退し、改良的市民運動が高揚する状況のなかで、民主的階級的な社会運動を指向する活動家、社会人らが団体の主旨を共有して結成されました。これまで、「WTO・投資協定反対国民運動」と共に、新自由主義と資本の世界化に反対する運動 朝鮮半島での反帝平和と民衆的統一のための政策提示実践活動

「非正規職共同対策委員会」や「派遣・サービス労働者労働権争取と間接雇用撤廃共同対策委員会」と共に、労働の不安定化と柔軟化に反対し、労働者の階級的統一を指向する活動 「新自由主義反対・民衆生存権争取・民衆大会実行委員会」と共に、民衆連帯、と先進的な運動の強化のための活動 雇用の世界化、開放化、労働不安定化、民営化に反対する政策活動と教育宣伝事業、人権と平和のための活動、を行ってきました。

#### 日本の労組への提起

彼らが日本の労働組合活動に対して次の

ような提起を行っています。現在、日本の社会運動グループの個別の活動家たちとの交流と連帯はありますが、安定した継続した連帯と発展していません。新自由主義のグローバル化と帝国主義に反対する前世界の民衆たちが共有している課題と活動を共に行いたいと思います。日本と韓国の民衆が共通の課題としている韓日投資協定などや、東アジアの反帝平和のための運動を韓日の民衆が連帯して闘わなければならない課題だと思います。

#### 非正規職労働者の組織化という課題

交流の中で、メンバーの方が、「民主労総の中でも、非正規職労働者の問題がなかなか定着していない。新自由主義の韓国社会での具体的な現れは、まさに60%近くにまで増加している非正規職労働者の組織化だと思う。労総の産別組織化改変と共に、いやそれ以上に非正規職の組織化に取り組まなければ韓国社会の未来は暗闇だし、民主労働運動などの社会運動も明日はない、と思います」と語っておられたのが印象に残りました。この言葉は、まさに日本の労働運動にも当てはまる言葉でしょう。

\* \* \*

次回に、民主労総の特徴としてあげた「社会性・国際性・文化性」が遺憾なく発揮された「労働者大会」についてご報告します。

## 6 映画「梅香里(メハンニ)」を観て

自立労連・広尾喜代志司

梅香里(メハンニ)と云う美しい名前の村には、その名前の美しさに似つかわしくない、米軍の射爆場がある。本来であれば、人々は遠浅の干潟がもたらす、自然の恵みをうけ、平穏に暮していけるのだろう。

映画は、梅香里のもつ二つの側面を映し出す。豊かに広がる干潟の自然。そして、幾度もの爆撃目標となり、元の半分以下の大きさにまでなってしまった、沖合いの島。干潟に埋もれる不発弾や、爆弾の残骸。今も島に打ち込まれる、ミサイルと爆撃機の騒音。梅香里に住み、そして射爆場への反対闘争を日常として生きている、

全 晩奎(チョン マングユ)さんの生活と、鄭 柚鎮(チョン ユジン)さんら、米軍犯罪根絶運動本部の女性たちの活動を通して、韓国の抱える在韓米軍の問題を浮き彫りにする。



劇物を河川に、そのまま廃棄したりと、韓国では沖縄以上に、米軍は自由に行動する。今も続く、米軍による犯罪は、基地周辺の住民に重く押し掛かる。



そして、この事は他人事ではない。アメリカは「対テロ」を口実に、着々と次の戦争を準備している。ブッシュ米大統領は、「イラン」「イラク」「朝鮮民主主義人民共和国」を名指して「悪の枢軸」と発言し、標的を定めた。日本では、小泉首相がそれに追従する発言をし、有事立法 憲法「改悪」へと戦争準備を進めている。沖縄では、名護市に新しい基地が、住民の反対を黙殺し、自然を破壊して強行されようとしている。

梅香里の問題は、梅香里だけでは解決しない。決意を新たに、反戦の闘いを進める必要を感じた映画だった。

## 7 舞鶴からの自衛隊第二次派兵を許さない！抗議行動報告

(2月12日 海上自衛隊舞鶴基地)

(アジア共同行動・京都 事務局発行の報告を要約、転載いたします)



2月12日、インド洋への自衛隊の第二次派兵として、京都府舞鶴市の海上自衛隊基地から護衛艦「はるな」が出航した。これに対して、アジア共同行動・京都の呼びかけで、舞鶴現地での抗

議行動が行われた。この行動には、京都・大阪から17人が参加した。

午前8時前、私たちは、まずJR東舞鶴駅前仕事や学校に急ぐ市民に訴える情宣を行った。その後、私たちは「はるな」が停泊し、出航式が行われる予定の北吸棧橋（きたすいさんばし）に向かった。



国道27号線に面した北吸棧橋に至る正門前に到着すると、すでに正門前では機動隊員が厳戒体制についており、上空では警備の自衛隊や報道関係のヘリコプターが旋回し、騒然とした状態になっていた。私たちを包囲した機動隊は、「道路使用許可を取っていないから抗議行動は認めない」などと妨害をくり返した。このような不当な妨害をはねのけて、私たちは「アメリカの侵略戦争への参戦をやめろ」「『はるな』の出航を許さないぞ」「有事立法・改憲反対」などと力いっぱいシュプレヒコールを行った。参加した仲間からのアピールを受けた直後の9時54分、「はるな」は抗議の声を振りきるようにインド洋へと出航した。

「はるな」が向かうのは、今なお米軍が爆撃をくり返し、毎日のように民衆が殺傷されている戦場なのだ。この米軍に燃料や食料を補給することによって、自衛隊はアフガニスタン民衆の殺傷に加担している。日本はすでに侵略戦争の参戦国なのだ。私たちは、アメリカによる侵略戦争への日本の参戦・協力を絶対に許さないという思いを込めて、出航していく「はるな」に向かって抗議のシュプレヒコールをおこなった。

私たちは次に、海上自衛隊舞鶴地方総監部への抗議・申し入れ行動に向かった。午後0時すぎ、総監部前に到着したとき、自衛隊の側は総監部の管理部長・久保秀人一等海佐など4人の自衛官が待機していた。私たちは抗議文を読みあげ、「はるな」の出航に厳しく抗議した。そして、総監部正門前でシュプレヒコールを行い、早朝からの行動を終了した。

米軍によるアフガニスタンでの爆撃はなお継続しており、戦争のうねりはフィリピンや朝鮮半島などにもおしよせてきている。このような戦争への日本の参戦・協力を許さず、有事立法・改憲を阻止していくためにさらに奮闘していかなばならない。このような思いを抗議行動への参加者一人ひとりがさらに強くして、私たちは大雪の舞鶴を後にした。

舞鶴基地が朝鮮半島 - 全世界への自衛隊の出撃拠点化していくなかで、舞鶴や綾部・宮津などでも自衛隊の派兵に反対していく声は少しずつ強まってきている。私たちアジア共同行動・京都は、このような舞鶴をはじめとした京都府北部の仲間との連携を強め、舞鶴基地の出撃拠点化に反対し、基地の撤去に向けた努力を続けていきたい。



(2002年2月14日)



## 洛南労組連 3月定例会議

3月8日(金) 18:30 ~ (南宇治コミセン)

17:30 ~ 恒例の大久保駅前情宣です。

春闘です。職場で地域でできることを相談しましょう！

議題

3・26 洛南連帯春闘の取組みについて

4月全国キャラバンの取組みについて

諸報告、その他

職場で、地域で、未組織の非正規雇用労働者の問題は大きな課題です。ともに学習し、組織化に取りかかりましょう。雇用や権利を守るのは団結以外にはありません。エスカレートする戦争参加をストップさせることも必要です。戦争は労働者の生活も命も破壊します。家族・職場・地域で話し合い、反戦平和の声をあげていきましょう。地域の労働者に見える労組連をめざし、あなたもぜひとも参加してください！

### スケジュールなど

2002年

- |          |  |
|----------|--|
| 2月23日(土) | もう黙っとられん京都労働者集会(教育文化センター)              |
| 24日(日)   | 「われら、住んで闘う！」ウトロ団結集会<br>(府立城南勤労者福祉会館3階) |
| 27日(水)   | ケイテム早朝情宣(松下電子本社前)                      |
| 3月8日(金)  | 洛南労組連・大久保駅前情宣<br>洛南労組連3月定例会議(南宇治コミセン)  |
| 16日(土)   | 有事立法反対! 3・16京都行動(三条河川敷にて)              |
| 24日(日)   | 映画「国労冬物語」上映会(京都キャンパスプラザ)               |
| 26日(火)   | 洛南連帯春闘集会(南宇治コミセン)                      |
| 31日(日)   | ひびけ沖繩のこころ! 関西のつどい(大阪城野外音楽堂)            |
| 4月10日(水) | 全国キャンペーン京都行動(未定)                       |
| 18日(木)   | 有事立法に反対する京都集会(ウイングス京都)                 |
| 5月3日(金)  | 憲法集会(未定)                               |

### <編集後記>

“ワークシェアリング”という名の賃下げ、非正規雇用への置き換えが、あれよあれよと言ううちに広がっています。自治体でも、正職員の残業代を、臨時職員の新規雇用に振り替えるというのが相次いでいます。京都府もそう! 大企業も自治体も、大勢が非正規という時代は遠くありません。(K・T)

快く原稿執筆依頼に応じたみなさん、ありがとうございました。書いてほしい内容を正確に相手に伝えることは結構難しいと知りました。(T・A)。

